

Unit 21 同等比較の as

人やモノの特徴が「同じぐらい〜だ」という際の表現は、比較構文の中で同等比較と呼ばれ、次のように使います。

A is as... as B
A is not as[so]... as B

as... as の中には形容詞 (rich / beautiful) か副詞 (fast / slowly) など、比較の観点が入ります。

Jack is as rich as Jill.
(ジャックはジルと同じぐらい金持ちだ)
Jack runs as fast as Jill.
(ジャックはジルと同じぐらい速く走る)

否定文の場合には、not を付け、以下のように表します (as... as がso... as になる場合もある)。

Jack is not as rich as Jill.
Jack does not run as [so] fast as Jill.

「同じぐらい」は「同じ」ではない

John is as rich as Bill. (ジョンはビルと同じぐらいお金持ちです) の「同じぐらい」は「まったく同じ」ということではありません。「少なくとも同等ぐらいには」ということです。そこで、John is as rich as Bill. は、「ジョンは少なく見積もってもビルと同じぐらいには金持ちだ」ということで、ジョンのほうがビルよりお金持ちであるという可能性があります。これを否定文にすると John is not as rich as Bill. となり、「ジョンはビルほど (同じぐらいには) お金を持っていない」という意味で、ジョンのほうが持っているお金が少ないということになります。

数量が比較の観点の場合

「同じぐらいたくさん」では、以下のように**as many [much] + 名詞 + as** の構文を使います。

Jack has as much money as Jill.

(ジャックはジルと同じぐらいお金を持っている)

Jack has as many apples as Jill.

(ジャックは同じぐらい多くのリンゴを持っている)

倍数を使って「～の2 倍」「～の3 倍」だと、以下のように**twice [three /four times] as much money [many apples] as...** という構文になります。

Jack has twice [three/four times] as much money [many apples] as Jill.

(ジャックはジルの2 [3/4] 倍のお金[リンゴ] を持っている)

倍はtwice、それ以外はtimes を使います。なお半分は half です。

as...as の慣用構文

▶ **as... as possible** (できるだけ～)

Please process my application as soon as possible.

(できるだけ早く私の応募書類を審査してください)

▶ **as... as can be** (このうえなく～)

He is just as obnoxious as can be.

(彼はこのうえなくいやなやつだ)

▶ **as... as ever** (あいかわらず～)

No matter how much he drinks, he seems as sober as ever.

(彼はどんなに飲もうと、全然あいかわらずしらふのままに見える)

▶ **as many as...** (～もの数)

There are as many as a dozen different reasons she should leave him.

(彼女が彼のものを去らなければならない理由は10 いくつもある)

▶ **as much as...** (～もの量)

He is known to bet as much as a million yen at a time.

(彼は一度に100万円もの金を賭けることで知られている)